

陸軍警察假規則

東 京 圖 書 館	
函 〇 七	門 五
架 三	部 十
號	類



CZ
663
01

036325-000-2

CZ-663-01

陸軍警察假規則

春陽堂

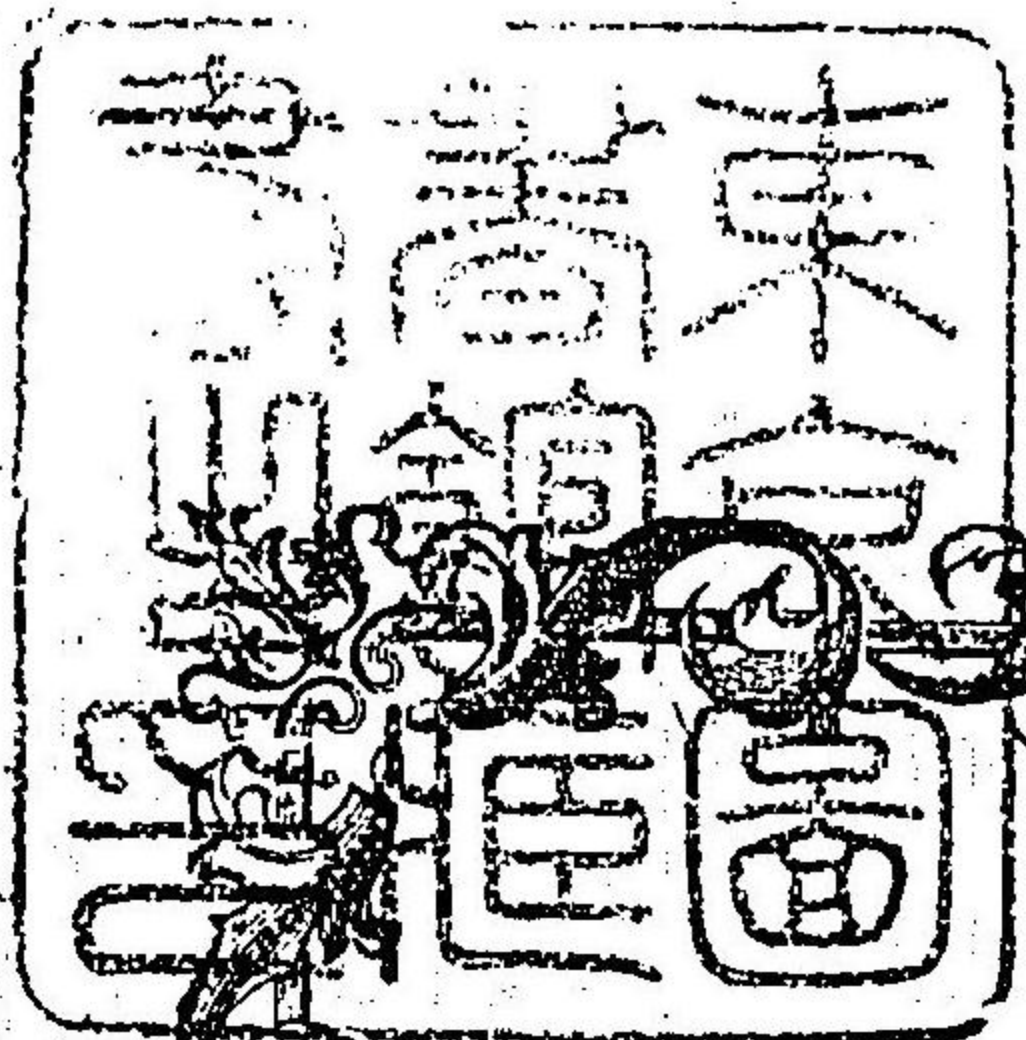
M14

BBQ-0026



特50
407

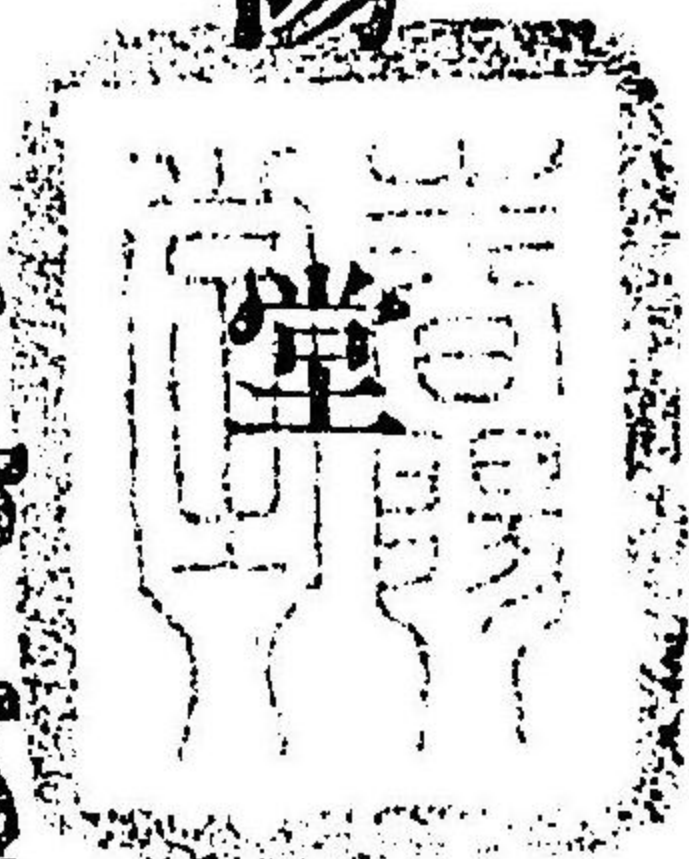
08
663
61



明治十四年九月

陸軍
警察假規則

春陽



陸軍省
印

Handwritten mark or signature.

○布第貳號

陸軍警察假規則別冊ノ通相定候條此旨布達候事

明治十四年九月十五日

陸軍卿大山

巖

陸軍警察假規則

第一條 此規則ハ憲兵平時ニ於ケル陸軍警察ノ勤務ヲ示スモノニシテ行政及ヒ司法警察並ニ海軍ニ關スル警察ノ事務ニハ之レヲ適用スルコトヲ得ズ

第二條 陸軍警察ノ趣意タル軍紀風紀ヲ維持スルニ在ルヲ以テ憲兵ハ常ニ軍人軍屬ノ行爲ニ注目シ其ノ非違ヲ警防スベシ

第三條 現行犯人ハ直チニ之レヲ逮捕シ現行ニ非ラザル犯人ハ命令書ヲ以テ逮捕スベシ(但懲罰ニ屬スベキモノ及ビ違式註違ノ犯人ハ之レヲ引致スルモノトス)

第四條 現行犯罪トハ現ニ行ヒ又ハ行ヒ終リタル際ニ發覺シタル罪ヲ謂フ

第五條 左ノ場合ニ於テハ現行犯ニ准ズ

(一) 犯人トシテ一人又ハ數人ニ追呼セラレトキ

(二) 兇器贓物其他ノ物件ヲ携帯シ又ハ其ノ舉動ニヨリ

犯人ト思料シタル時

(三) 家宅内ニ於テ犯シタル罪ヲ檢證スル爲メ又ハ犯人

ト思料スベキ者ヲ逮捕スル爲メ其戸主ヨリ處分ヲ

請求シタル時

第六條 現行犯人ヲ取押フル爲メ人家ニ入ルベキ時ハ

官姓名ヲ述べ直チニ入ルコトヲ得若シ之ヲ拒ミ或ハ藏匿

スルモノアル時ハ懇ロニ説諭シ猶ホ用ヒザル時ハ侵入ス

ルコトヲ得但外國人ノ邸宅ニ係ルハ其主ノ承諾ヲ得テ搜

索スベシ若シ肯セザル時ハ其外部ヲ警備シ上官ノ指揮ヲ

請フベシ

第七條 現行犯罪アル時ハ犯人ヲ取押ヘタルト否トニ

拘ハラズ調書ヲ作ルベシ

第八條 死傷其他檢証ヲ要スル者アル時其証憑ト爲ル

ベキ物件ハ悉ク原態ヲ保存シ他人ノ騷擾ヲ防ギ見証人ノ

離散ヲ制シ現場ノ景況ヲ屯所若クハ分屯所ニ報シ臨檢ヲ

請フベシ

第九條 脱走及ビ休暇期盡キテ還ラズ又ハ豫備後備軍

ニ在テ擅ニ他管ニ出或ハ召集ニ應ゼザル軍人ト思料スベ

キ者アル時ハ休暇免狀宿泊証書或ハ證據ト爲ルベキモノ

ヲ檢シ其之レヲ有セザル者ハ逮捕若クハ引致スベシ

第十條 現行ニ非ザル犯人ヲ認知スル時ハ順序ヲ經テ

隊長ニ申告シ其命ヲ俟テ處分スベシ
 第十一條 告訴告發ハ詳細ニ聞取り事實相違ナク法ニ悖ラザル者ハ現行非現行犯ノ區分ニ從ヒ處分スベシ(但告訴告發書ニハ署名捺印セシムベシ)
 第十二條 命令書ヲ以テ犯人ヲ搜索スルニ方リ其家宅若クハ他人ノ家宅ニ潛匿シタリト思料スル時ハ其郡區吏員若クハ隣佑ノ立會ヲ求メ之ヲ搜索スベシ若シ戸主之ヲ拒ミ或ハ藏匿スル時ハ第六條ノ例ニ依ルベシ
 第十三條 命令書ヲ以テ犯人ヲ逮捕スルニ方リ命令書ヲ見ノリテ請フ時ハ之ヲ示スベシ
 第十四條 犯人搜索ノ爲メ人相書ヲ要スル時ハ隊長之ヲ各分隊長ニ達シ分隊長ハ之ヲ部下ニ付シ各自ノ勤務手

牒ニ記載セシムベシ(但其犯人捕ニ就キ若クハ死去シタル時ハ隊長ヨリ速ニ其旨ヲ達スベシ)
 第十五條 犯人ヲ逮捕スルニ方リ踪跡ヲ失スル時ハ罪狀並容貌衣服携帶ノ物品其他証憑ト爲ルベキモノヲ詳記シ速ニ最寄屯所若クハ分屯所ニ報ズベシ
 第十六條 犯人他區ニ遁逃或ハ潛匿スルコトヲ探知スレバ速ニ其區ノ屯所若クハ分屯所ニ報シ他ノ使府縣ニ係ル時ハ隊長ヨリ其使府縣ニ逃捕若クハ引致ヲ依頼スベシ
 第十七條 犯罪ニ關スル物件ヲ差押フル爲メ家宅搜索ヲ要スル時ハ命令書ヲ帶シ其郡區吏員若クハ隣佑ノ立會ヲ求メ搜索スベシ若シ戸主之ヲ拒ミ或ハ藏匿スル時ハ第六條ノ例ニ依ルベシ

第十八條 犯罪ニ關スル物件ハ勉メテ原態ヲ變改セザルヲ要ス其輒ク轉移スベカラザルモノハ場所ノ周圍ヲ閉鎖シ又ハ看守者ヲ置クベシ(但已チ得ザル場合ニ於テハ親屬又ハ隣佑ニ寄託スルヲ得)

第十九條 隊長ハ犯罪ノ事實發見ノ爲メ必要ナリトスル時ハ驛遞電信鐵道ノ官署又ハ諸會社ニ事由ヲ通知シ其証憑トナルベキ者アル時ハ之ヲ差押フルヲ得ヘシ

第二十條 犯人ヲ逮捕若クハ引致シタル時ハ隊號官姓名等ヲ取調其逮捕ニ關スルモノ、携帶品ハ悉ク之ヲ取揚グベシ就中劔銃火藥其他危害ト爲ルベキモノニ注意スベシ(但証人ト爲ルベキモノニ對シ屯所若クハ分屯所ニ到ルヲ求ムルヲ得)

第二十一條 分屯所ニ於テ逮捕若クハ引致シタル犯人(違式註違ヲ除ク)ハ總テ屯所ヘ送付スベシ(但屯所最寄ニ於テ逮捕若クハ引致シタルトキハ直チニ屯所ニ送付シ然ル後分屯所ニ報ズルモ妨グナシ)

第二十二條 違式註違ノ犯人ハ引致シタル屯所若クハ分屯所ニ於テ違式註違條例ニ照シ士官之ヲ處分スベシ
第二十三條 屯所若クハ分屯所ニ於テ犯人ヲ逮捕若クハ引致シタル時ハ直チニ本人所管ヘ通報スベシ

第二十四條 分屯所ヨリ犯人ヲ屯所ニ送付スル時ハ調書ヲ作り携帶品及ビ贓物等ト同時ニ送致スベシ(但携帶品及ビ贓物ハ犯人ノ面前ニ於テ目錄ヲ作り之ニ調印セシムルモノトス)

第二十五條 屯所ニ於テ犯人ノ取調ヲ爲ス時ハ下士ヲシテ口供ヲ書取ラシメ兵卒一名若クハ二名ヲシテ看守シ爲サシムベシ

第二十六條 犯人取調中黨類アルヲ認知スル時ハ速ニ隊長ニ申告スベシ

第二十七條 犯罪ニ關スル物件ニ付鑑定人ヲ要スル時ハ分隊長ヨリ直チニ之ヲ召喚スルヲ得

第二十八條 鑑定ハ取調ヲ爲ス者ノ面前ニ於テ之ヲ爲サシメ其鑑定書ニ署名捺印セシムベシ

第二十九條 犯人ノ取調ヲ爲スニハ決シテ拷掠究治スルヲ許サズ其罪ニ服セザル者ハ強ヒテ甘結セシムルヲ要セズ

第三十條 分隊長ハ犯罪ノ軍律ニ觸ル、者ハ假口供並ニ關係書類ヲ隊長ニ送呈シ指揮ヲ請ヒ懲罰ニ爲スベキ者ハ本人ヲ直チニ其所管ニ交附スベシ然レモ其軍律ニ觸ル者ニ關涉スル時ハ隊長ノ指揮ヲ請フモノトス(但懲罰ニ屬スベキモノニシテ本人ノ所管東京ニ非ラザルモノハ陸軍裁判所ニ送付スルモノトス)

第三十一條 隊長ハ分隊長ヨリ犯人處分ノ指揮ヲ請フ時ハ尙ホ之ヲ審覈シ假口供並ニ關係書類ヲ添へ陸軍裁判所ニ送付スベシ

第三十二條 犯人取調ノ爲メ之ヲ拘留スルモ分屯所ニ於テハ一日(二十四時間)屯所ニ於テハ三日(七十二時間)ヲ過グルヲ得ズ若シ事故ニヨリ定期ヲ超ユル時ハ其事由ヲ詳

記シ上官ニ申告スベシ

第三十三條 犯人ヲ護送スル時ハ嚴重ニ其取締ヲ爲スベシ然レモ之レガ爲メ苛酷ノ取扱ヲ爲スベカラズ

第三十四條 犯人二人以上ヲ同時ニ護送スル時ハ其罪狀ニ依リ之ヲ別異スベシ

第三十五條 犯人暴行ヲ以テ逃亡セントスル時ハ勉メテ之ヲ制シ猶從ハザル時ハ相當ノ處置ヲ爲スヲ得

第三十六條 犯人若シ逃亡シタル時ハ速ニ追跡スベシト雖モ之ガ爲メ他ノ犯人ノ護送ヲ遲延スベカラズ

第三十七條 暴行ヲ鎮壓スル爲メ犯人ニ死傷アル時ハ其顛末ヲ速ニ屯所若クハ分屯所ニ報シ檢視ヲ請フベシ

第三十八條 中(少)尉若クハ軍曹檢視ヲ爲スニ方テハ先

ヅ見證人ニ就キ其事情ヲ聞取リ然ル後之ヲ檢視シ死傷ノ原因景狀等ヲ詳記シ證告書ヲ作り診斷書ヲ添ヘ之ヲ上官ニ呈スベシ

第三十九條 犯罪ノ事蹟并ニ器物等ハ詳細取調犯罪ノ證憑トナルベキモノハ之ヲ拾聚スベシ

第四十條 行兇人逃亡シ被害人生存スル時ハ其行兇人ノ容貌衣服其他事情ヲ聞取リ之ヲ詳記シテ探索ノ用ニ供スベシ

第四十一條 檢視終レバ被傷者及ビ死屍ハ本人ノ所管ニ交付スベシ若シ其所管東京ニ非ル時ハ被傷者ハ東京陸軍病院ニ送付シ死屍ハ假埋ヲ爲シ其旨ヲ所管ニ通報スベシ

第四十二條 陸軍裁判所ヨリ死刑執行ノ通報アル時ハ
 警備ノ爲メ適宜人員ヲシテ臨場セシムベシ
 第四十三條 證書類ハ左ノ書式ニ照シ楷行ノ書体ニテ
 片假名ヲ交ヘ行文ハ勉メテ簡明ナルヲ要ス若シ止ムコト
 得ズ改竄塗抹挿入等ヲ爲ス時ハ必ず本人ヲシテ認印セシ
 ムベシ
 命令書式

何ノ誰「所管隊號官姓名」儀何々ニ付逮捕(引致)(家宅搜索)
 可致候事

年 月 日
 憲兵隊長
 官 姓 名 印

逮捕證書書式(引致ニ係ル證書書モ亦之レニ準ズ)

所管隊號

官 姓 名

右ノ者(逃亡殺傷等)ノ所業有之趣ヲ以テ逮捕ノ命ヲ奉シ
 或ハ何ノ誰ヨリ何々ノ訴有之ヲ以テ直チニ其場ニ臨ミ
 或ハ何誰ヲ毆打スルヲ見認メ(逮捕シタル月日場所並ニ
 現場ノ景況ヲ詳細ニ記載ス)依テ逮捕致候(事故ニヨリ本
 犯逮捕スル能ハザル時ハ其事由ヲ記ス)此段證書告候也
 憲兵第幾分隊

年 月 日
 官 姓 名 印
 家宅搜索ヲ爲シタル時ハ立會人ヲシテ連署セシムベシ
 物件差押證書書式

何々ノ件ニ付物件差押ノ命ヲ奉シ戸長或ハ隣佑立會ノ
上家宅搜索ヲ遂候處左之通候間此段証告候也

一 犯人ノ所管隊號官姓名

一 犯罪ノ事由

一 戸主ノ姓名

一 搜索シタル室

一 開披シタル器具

一 差押ヘタル物件

一 搜索ノ月日時問

憲兵第幾分隊

年 月 日

官 姓 名 印

立會人

姓 名 印

差押ヘタル物件ニ付犯人或ハ戸主ノ辨解アリタル時
ハ之ヲ別紙ニ記載スベシ

檢視証告書式

何月何日何時何誰ヨリ變死傷ノ申報有之醫官何某同道
臨檢候處何誰或ハ姓名不詳何年位ノ者縊死或ハ鬪毆殺
傷ニ有之疵ノ大小深淺出血ノ多少皮膚ノ景況等詳細ニ
之ヲ記ス(全ク謀殺自殺又ハ強盜等ノ所爲ト相見ヘ何々
ヘ引渡シ又ハ假埋取計置候依テ醫官診斷書並ニ見證人
證書相添此段証告候也

憲兵第幾分隊

年 月 日

官 姓 名 印

右之通相違不申上候事

◎年 月 日

◎姓 名

印

下士以上ハ花押
兵卒ハ拇印

一 逮捕自首告訴告發ノ年月日時場所ハ詳ニ之ヲ記スベシ
一 數葉ニ涉ルモノハ必ズ本人ヲシテ其綴リ目ニ花押若ク
ハ拇印ヲ爲サシムベシ

明治十四年九月廿七日御届
同 年同月廿八日出版

岐阜縣平民

編輯兼出版人

和田篤太郎

芝區新櫻田町拾番地寄留

發 兌 春 陽 堂

